大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F133310109572	設置等組織名	情報デザイン学部　情報デザイン学科
大学名	ノートルダム清心女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	岡山	事業計画名	情報デザイン学部事業計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度			令和5年度自己評価：リストから選択してください。
令和6年度	・2後-①令和7年1月 情報デザイン学部成長分野転換支援基金助成金運用委員会発足 ・3-①令和6年4月～ 情報デザイン学部開設、講義演習PBLでのクラウドシステム・IT設備等利用開始 ・3-②令和6年4月～ PBL協力企業開拓 ・3-③令和6年10月～ 高校出張講座、ワークショップ等開催 ~~・2-①令和6年8月（仮称）情報デザイン棟検討委員会発足予定~~ ~~・2-②令和7年2月（仮称）情報デザイン棟契約予定~~ ~~・2-③令和7年3月（仮称）情報デザイン棟着工予定~~	・2後-①令和7年1月 情報デザイン学部成長分野転換支援基金助成金運用委員会発足 ・3-①令和6年4月～ 情報デザイン学部開設、講義演習PBLでのクラウドシステム・IT設備等利用開始 ・3-②令和6年4月～ PBL協力企業開拓 ・3-③令和6年10月～ 高校出張講座、ワークショップ等開催	令和6年度自己評価：【４】計画を上回って実施している。 当初は文学部3学科のみの定員減を予定していたが、18歳人口の現状を鑑み、教育の質を向上させることを目的として、文学部英語英文学科・日本語日本文学科・現代社会学科に加え人間生活学部児童学科の入学定員及び収容定員に係る学則変更の届出を4月に実施した。 令和7年1月に情報デザイン学部成長分野転換支援基金助成金の運用についての委員会を発足し、定期的に委員会を開催し、今後の事業計画についての実施方法についての検討を重ねている。 令和6年4月に情報デザイン学部が開設され、クラウドシステムやIT設備等を利用した授業・研究等が開始された。また、令和8年度に開設するPBLに関する授業について協力企業も順次開拓している。
令和7年度	・2後-② 令和7年11月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科トリニティホール7階改修工事（R.7.11.20承認） ・2後-③ 令和7年11月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科ルチアホール改修工事（R.7.11.20承認） ~~・3 ③令和7年4月～岡山理科大学等とワークショップ等開催予定~~	・2後-② 令和7年12月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科トリニティホール7階改修工事 ・2後-③ 令和7年12月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科ルチアホール改修工事	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。 ・2後-② 令和7年12月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科トリニティホール7階改修工事(令和8年5月29日引き渡し) ・2後-③ 令和7年12月～ 情報デザイン学部情報デザイン学科ルチアホール改修工事完了(令和8年5月29日引き渡し)  
令和8年度	・2後-④令和8年度～9年度（仮称）情報デザイン棟建築工事（R7.3.28承認） ・3-④令和8年4月～PBL実施	・2後-④令和8年度～9年度（仮称）情報デザイン棟建築工事 ・3-④令和8年4月～PBL実施	令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度			令和9年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和5年3月　情報デザイン学部情報デザイン学科認可申請 令和6年4月　情報デザイン学部情報デザイン学科開設（入学定員90人、工学関係）	令和5年3月　情報デザイン学部情報デザイン学科認可申請 令和6年4月　情報デザイン学部情報デザイン学科開設（入学定員90人、工学関係）	
定員減又は 学部等の廃止	令和6年4月　文学部英語英文学科30人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係） 文学部日本語日本文学科10人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係） 文学部現代社会学科10人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係、社会学・社会福祉学関係） 人間生活学部児童学科20人減員に係る届出（入学定員110人、教育学・保育学関係）	令和6年4月　文学部英語英文学科30人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係） 文学部日本語日本文学科10人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係） 文学部現代社会学科10人減員に係る届出（入学定員60人、文学関係、社会学・社会福祉学関係） 人間生活学部児童学科20人減員に係る届出（入学定員110人、教育学・保育学関係） 令和7年度　文学部英語英文学科減員（同上） 文学部日本語日本文学科減員（同上） 文学部現代社会学科減員（同上） 人間生活学部児童学科減員（同上）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	ノートルダム清心女子大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
令和８年から実施予定となっているPBLに対して、岡山県内企業（株）天満屋ストアと（株）宗家源吉兆庵に令和4年度に協力依頼の申し入れを行い、快諾を得ている。具体的なPBL課題の実施方法については、企業側と調整が可能となる令和６年度より実施予定である。また、PBL課題の提供も念頭においた共同研究を（株）大阪NDS等と令和５年度より実施している。 地域の他大学との取り組みの観点からは、岡山理科大学と同大学情報工学部のAI、人工知能の教育研究者から招いてとの講演会やワークショップを実施する計画である。将来の単位互換等の可能性を含め、検討の予定である。そのために完成年度までの定期的な講演会、相互関連でのセミナー・ワークショップを実施する計画である。	令和8年からPBLを実施している。前期にシステム開発がテーマのPBLⅠを、後期にデータ解析がテーマのPBLⅡを実施している。PBLⅠについては、両備システムズ、源吉兆庵、富士フィルム、カイタック、天満屋、天満屋ストアより各企業の課題の説明があり、その課題解決に向けて演習を実施している。PBLⅡについては現時点ではカイタック、天満屋ストアの2社と実施予定で準備を進めている。 地域の他大学との取り組みについては、岡山理科大学の担当者とセミナーなどの開催を打診した段階である。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では従来より多様な入学者の確保をすべく、共通試験を利用した筆記試験に加えて、面接や口頭試問を中心とした総合入試を行ってきている。当該学部でもその枠組みで入試を実施し、学生確保を行う計画である。本学は女子大学であり、特に情報分野での女子学生の確保増の活動を行っている。既に多様な学生を受け入れるための社会人入学、帰国子女入学、学士入学などの特別選抜を実施しており、当該学部でも実施予定である。科目等履修生制度、聴講生制度もあり、学生の学びの状況に応じた対応が可能である。出張講義の仕組みも有しており、当該学部も実施予定である。地域の初等中等教育との連携では、学校の要望に応え、既存の各学科で出張講義を実施しているが、当該学部においても高等学校の理系コースや情報科のみならず文系コースにも積極的に出向き、女子生徒のDXへの興味関心を喚起するような講義内容を検討している。	従来から実施しているプレゼンテーションによる選抜に加えて、全学的な選抜方法の変更による、小論文による選抜、基礎学力検査による選抜を実施している。高校生にとって受験勉強の延長で受験できるようにする狙いである。入学者が一昨年度、昨年度より増加し、定員の60%を超えることができた。 出張講義は以下の高等学校で実施した。玉野光南高等学校、高知中学高等学校、興陽高等学校。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	ノートルダム清心女子大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和7年度	実施状況報告書留意事項	R7 年度収容定員充足率が 0.52（情報デザイン学部情報デザイン学科）となっている。収容定員未充足の改善に努めること。	2024年度実施した、総合型選抜：上述の体験授業参加型によるプログラムのプレゼンテーション、高等学校での活動のプレゼンテーション、学科適正検査に加えてを一部変更し、体験授業参加型の選抜は高等学校での活動のプレゼンテーションに一本化し、加えて、小論文、基礎学力検査等高校生が受験しやすい選抜を取り入れた、広報活動は以下を行った。 ・進研アド模試デジDMによる高校生へのアプローチ ・DXハイスクールとの連携 ※出張講義の開催 ・オンラインオープンキャンパス・オープンハウス ※高校生と保護者が対象 以下の対外活動を行い、ブログで発信する等、情報デザイン学科の広報活動を行っている。 ・国際ワークショップGNW2026（2026 Spring GlobalNet Workshop）で学部2年生5名が英語による研究発表（無線通信と幼児行動研究の成果）を実施 ・兵庫県立龍野高等学校の研究発表会で当学科の活動事例を紹介 ・情報教育合同発表会にて学部生3名がワークショップを実施 ・本学の大学祭の産学連携センター展示コーナー「清心の研究力」で当学科教員の研究をポスター発表、延べ270名の来場者があった。 ・岡山県立図書館等と協力企画を昨年度に引き続いて実施

大学名	ノートルダム清心女子大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報デザイン学部情報デザイン学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定・認可	R6年度 開設	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	90																	
		編入学定員	人	-	0																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	90	90	90															
		入学者数	人	-	46	48	55															
		女子学生数	人	-	46	48	55															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	90	90	90															
		入学者数(B)	人	-	46	48	55															
		女子学生数	人	-	46	48	55															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	0.51	0.53	0.61															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	90	180	270															
		編入学定員	人	-	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	-	46	94	148															
		編入学者数	人	-	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	0.51	0.52	0.55															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	6	6	6															
		授業科目の単位数	単位	-	14	22	46															

大学名	ノートルダム清心女子大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	90	90	90															
		入学者数	人	-	46	48	55															
		女子学生数	人	-	46	48	55															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	90	90	90															
		入学者数(B)	人	-	46	48	55															
		女子学生数	人	-	46	48	55															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	0.51	0.53	0.61															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	90	180	270															
		編入学定員	人	-	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	-	46	94	148															
		編入学者数	人	-	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	0.51	0.52	0.55															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	6	6	6															
		授業科目の単位数	単位	-	14	22	46															

大学名	ノートルダム清心女子大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	520	710	640	640															
		入学者数	人	451	542	608	595															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	520	710	640	640															
		入学者数(B)	人	451	542	608	595															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.87	0.76	0.95	0.93															
	収容定員等	収容定員(C)	人	2030	2270	2390	2510															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1763	1891	2055	2174															
		編入学者数	人	1	0	0	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.87	0.83	0.86	0.87															

４.外部資金の状況（全学）

改組状況	H30年度 申請−5年	R1年度 申請−4年	R2年度 申請−3年	R3年度 申請−2年	R4年度 申請−1年	R5年度 選定	R6年度 開設	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 千円	31,490	24,296	22,483	25,472	38,734	58,363	42,393												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	35,533
本事業による助成金の額(F)	千円	940,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	59,033

特記事項

収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。